

【ご参考資料】

「ロボ・ジャパン(円投資型)/(米ドル投資型)」  
設定後のポートフォリオについて

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

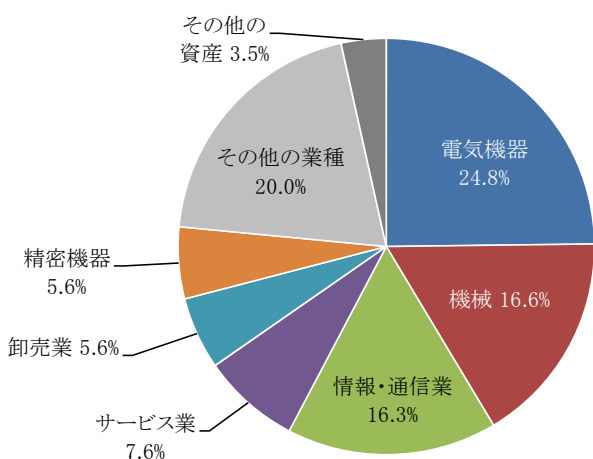
2016年4月1日に設定しました、「ロボ・ジャパン」のポートフォリオの状況についてお知らせいたします。

2016年4月13日現在の業種別配分比率、テーマ別配分比率および組入上位10銘柄は以下のとおりです。

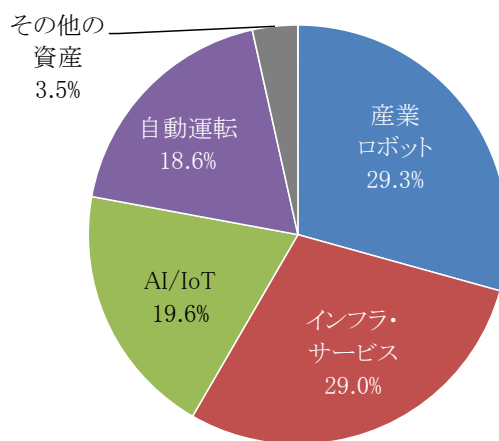
ポートフォリオの資産内容 (2016年4月13日現在)

\* 各ファンドが投資対象とする「ロボ・ジャパン マザーファンド」の資産内容です。

《業種別配分比率》



《テーマ別配分比率》



・業種は東証33業種分類によります。

——— 上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。 ———

## 《組入上位10銘柄》

銘柄名	業種	テーマ	銘柄解説	純資産比
キーエンス	電気機器	産業ロボット	独自開発のセンサーとコンサルティング営業により工場ハイテク化に貢献。高い工場自動化ニーズを捉え、経常利益率50%超を実現する優良企業。	3.0%
日本電産	電気機器	自動運転	燃費改善に寄与する車載モーターの雄。自動運転の進化に不可欠な電子制御・センサー技術も有する。 2020年度に売上高2兆円を目指している。	1.8%
浜松ホトニクス	電気機器	産業ロボット	ノーベル賞で知られる「カミオカンデ」を支えた「光技術」を活かし、センサーなどで用途拡大。 世界的な技術力を背景にした高性能センサーなどで成長が続く。	1.8%
SMC	機械	産業ロボット	ロボットの進化に欠かせない空圧機器の世界最大手。 技術力だけでなく営業サポート体制も随一であり、世界で約4,800名の営業スタッフが成長を支えている。	1.8%
シスメックス	電気機器	インフラ・サービス	試薬とハード両方が収益源の検体検査装置での成長に加え、医療用ロボットへ進出。 血球検査装置で世界トップシェア。子会社で手掛ける手術支援ロボットに期待。	1.7%
三菱電機	電気機器	産業ロボット	自動車や工業用ロボットの心臓部であるモーター、電装品で高い競争力。 ロボット関連が多く含まれる産業メカトロニクス部門は売上高の約3割、営業利益の約4割を占める稼ぎ頭。	1.7%
CYBERDYNE (サイバーダイン)	精密機器	インフラ・サービス	世界初のサイボーグ型ロボットスーツを介護支援でビジネス化したベンチャー企業。 ロボット関連が売上高の100%を占める数少ない企業。	1.6%
PALTAC	卸売業	インフラ・サービス	ロボット活用などを通じ、サプライチェーン効率化に取り組む日用品・化粧品卸最大手。 ドラッグストア業界全体の成長を通じてインバウンド需要拡大も享受。	1.6%
ダイフク	機械	産業ロボット	立体自動倉庫、自動仕分け装置などを展開する物流機器メーカー。 省力化、効率化への投資を追い風に、物流センター用搬送機器やシステム更新の需要を世界レベルで取り込む。	1.6%
セコム	サービス業	インフラ・サービス	「ロボット活用」の先駆者ともいえる機械警備最大手が、自律型飛行監視ロボット(ドローン)でサービス拡大。 既存機械警備の安定したキャッシュフローを評価。業務用ドローンのビジネスモデルでも先行。	1.6%

(出所)作成時点で確認できる各社情報等を基に野村アセットマネジメント作成

・業種は東証33業種分類によります。

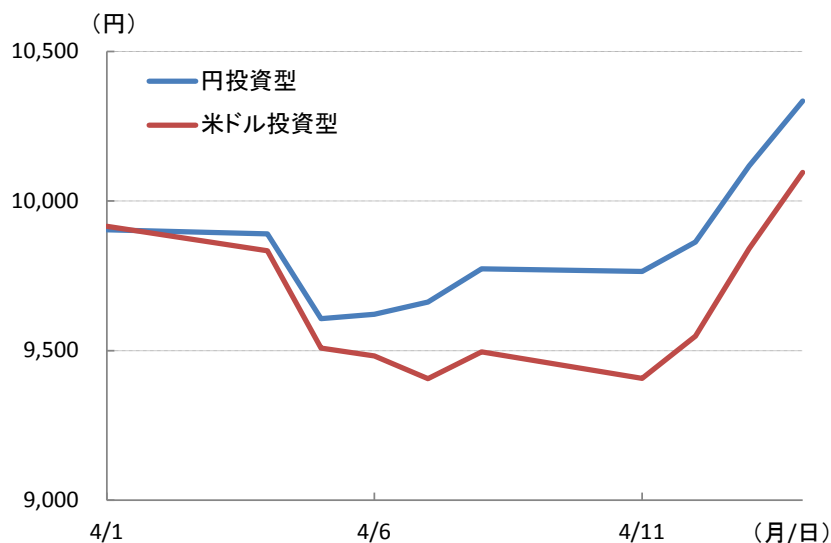
当資料はファンドの上位組入銘柄の参考情報を提供することを目的としており、特定銘柄の売買等の推奨、また価格等の上昇や下落を示唆するものではありません。

——— 上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。 ———

当資料は、ファンドに関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時点のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、株式等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドに生じた利益および損失はすべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

## (ご参考)ファンド設定来の基準価額の推移

期間:2016年4月1日(設定日)~2016年4月14日、日次



2016年4月14日現在

	基準価額
円投資型	10,334円
米ドル投資型	10,096円

・基準価額は1万口当たりです。

(注)ファンドの初回決算は2016年9月23日であり、分配金実績はありません。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

——— 上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。 ———

ファンドでは、ロボットを作る産業だけではなく、ロボット技術によって付加価値を生み出す企業群をロボット関連産業と捉え、その分野の日本企業に投資を行います。

ロボット関連産業は技術革新や社会のニーズの高まりなどにより飛躍的な発展を遂げようとしています。

短期的には、世界経済の伸び悩みや円高を受けて企業業績全体に不透明感があり株式市場も乱高下していますが、株価が調整している局面は有望なロボット関連企業に投資を行なう良い機会であると考えています。

今後とも「ロボ・ジャパン」をご愛顧賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

以上

## ファンドのポイント

- **ロボット関連産業において今後の活躍が期待できる日本企業に投資します。**
- **今後の活躍が期待できる日本企業として、当面は以下に注目します。**
  - **ロボット、自動運転、およびAI(人工知能)・IoT(モノのインターネット化)等の優れた技術を有する企業**
  - **上記のようなロボット関連技術により、ビジネスやサービスの拡大・効率化が期待できるインフラ・サービス等に関わる企業**

▶ 当資料では、上記の観点から注目する企業を「産業ロボット」、「AI(人工知能)・IoT(モノのインターネット化)」、「自動運転」および「インフラ・サービス」の4つのテーマに分類します。

- **「円投資型」と「米ドル投資型」間でスイッチングが可能です。**

## ファンドの特色

- **「円投資型」は、わが国の株式を実質的な主要投資対象\*とし、信託財産の成長を目標に積極的な運用を行なうことを基本とします。**
- **「米ドル投資型」は、わが国の株式を実質的な主要投資対象\*とし、選択権付き為替予約取引等の外国為替に関するデリバティブ取引を主要取引対象とし、信託財産の成長を目標に積極的な運用を行なうことを基本とします。**
  - ・株価指数先物取引および外国為替予約取引等を活用する場合、短期有価証券ならびに短期金融商品等に投資する場合があります。
- ※ファンドは、「ロボ・ジャパン マザーファンド」をマザーファンドとするファミリーファンド方式で運用します。「実質的な主要投資対象」とは、マザーファンドを通じて投資する、主要な投資対象という意味です。
- **ファンドは、円建て資産について為替取引を行わない「円投資型」と、円建て資産について、選択権付き為替予約取引等の外国為替に関するデリバティブ取引を活用し、米ドルへの投資効果を追求する「米ドル投資型」があります。**
  - **銘柄の選定にあたっては、わが国の株式の中から、産業用・サービス用等のロボットの製造、あるいは部品やソフトウェア等の関連技術に携わり今後の活躍が期待できる企業、また、ロボットおよび関連技術を活用することでビジネスの拡大・効率化が期待できる企業に着目します。**
    - ※当面は、ロボット、自動運転およびAI(人工知能)・IoT(モノのインターネット化)等の優れた技術を有し、今後の活躍が期待できる企業、ならびにこれら企業の技術革新や産業構造の変革に伴う生活スタイルの変化により恩恵を受けてビジネスやサービスの拡大・効率化が期待できるインフラ・サービス等に関わる企業に注目します。
    - \*当ファンドにおいて、ファンド名称にある「ロボ」とは、ロボットのことを指し、人間のサポートあるいは人間の代替として様々な課題に対するソリューションを提供する手段をいいます。
  - **ポートフォリオの構築にあたっては、企業の競争力および業績動向やバリュエーション等を総合的に勘案して組入銘柄および組入比率を決定します。**

— 資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。 —

## 【投資リスク】

**当ファンドの投資リスク** ファンドのリスクは下記に限定されません。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

各ファンドは、株式等を実質的な投資対象としますので、組入株式の価格下落や、組入株式の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により基準価額が下落することがあります。また、米ドル投資型は、外国為替に関するデリバティブ取引を行ないますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

《基準価額の変動要因》 基準価額の変動要因は下記に限定されるものではありません。

### ◆株価変動リスク

ファンドは実質的に株式に投資を行ないますので、株価変動の影響を受けます。また、ファンドは、特定のテーマに絞った株式に実質的に投資を行ないますので、株式市場全体の動きとファンドの基準価額の動きが大きく異なる場合があります。また、より幅広いテーマで株式に分散投資した場合と比べて基準価額が大きく変動する場合があります。

### ◆為替変動リスク

米ドル投資型は、選択権付き為替予約取引等の外国為替に関するデリバティブ取引を活用しますので、為替変動の影響を受けます。また、米ドル金利が円金利より低い場合、その金利差相当分が、基準価額の下落要因となります。

お申込みメモ

●信託期間	平成38年3月23日まで(平成28年4月1日設定)
●決算日および 収益分配	年2回の毎決算時(原則3月および9月の各23日(休業日の場合は 翌営業日))に、分配の方針に基づき分配します。
*初回決算日は、平成28年9月23日となります。	
ご 購 入 時	●ご購入価額 ご購入申込日の基準価額
	●ご購入代金 原則、ご購入申込日から起算して5営業日目までに販売会社 にお支払いください。
	●ご購入単位 一般コース(分配金を受取るコース):1万口以上1口単位または 1万円以上1円単位 自動けいぞく投資コース(分配金が再投資されるコース):1万口 以上1口単位または1万円以上1円単位 *原則、ご購入後にコースの変更はできません。*詳しくは、野村証券にお問い合わせください。
ご 換 金 時	●ご換金価額 ご換金申込日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
	●ご換金代金 原則、ご換金申込日から起算して5営業日目から販売会社 でお支払いします。
	●ご換金制限 大口換金には制限を設ける場合があります。
その他	●スイッチング 「円投資型」と「米ドル投資型」間でスイッチングが可能です。

課税関係	個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時(スイ ッチングを含む)および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、 少額投資非課税制度などを利用した場合には課税されません。なお、 税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。 詳しくは販売会社にお問い合わせください。
------	---

※お申込みの際には投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

当ファンドに係る費用 (2016年4月現在)

●ご購入時手数料		
ご購入口数に応じてご購入価額に以下の率を乗じて得た額		
ご購入口数	ご購入時手数料率	スイッチング時手数料率
1億口未満	3.24%(税抜3.0%)	1.62%(税抜1.5%)
1億口以上5億口未満	1.62%(税抜1.5%)	0.81%(税抜0.75%)
5億口以上	0.54%(税抜0.5%)	0.27%(税抜0.25%)
平成28年7月1日以降のお申込分より、ご購入口数からご購入代金*に応じた手 料率に変更予定です。		
ご購入代金	ご購入時手数料率	スイッチング時手数料率
1億円未満	3.24%(税抜3.0%)	1.62%(税抜1.5%)
1億円以上5億円未満	1.62%(税抜1.5%)	0.81%(税抜0.75%)
5億円以上	0.54%(税抜0.5%)	0.27%(税抜0.25%)
※ご購入代金=ご購入口数×基準価額+ご購入時手数料(税込)		
●運用管理費用(信託報酬) ファンドの保有期間中に、期間に応じてかかります。		
「円投資型」	純資産総額に年1.566%(税抜年1.45%)の率を乗じて得た額	
「米ドル投資型」	純資産総額に年1.5768%(税抜年1.46%)の率を乗じて得た額	
●その他の費用・手数料 ファンドの保有期間中に、その都度かかります。 (運用状況等により変動するため、事前に利率・上限額等を示すことができません。)		
・組入価値証券等の売買の際に発生する売買委託手数料 ・外貨建資産の保管等に要する費用 ・監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 ・ファンドに関する租税 等		
●信託財産留保額(ご換金時、スイッチングを含む)		
1万口につき基準価額に0.3%の率を乗じて得た額		

上記の費用の合計額については、投資家の皆様ที่ファンドを保有  
される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。  
※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

◆お申込みは

野村証券

商号:野村証券株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第142号  
加入協会:日本証券業協会/一般社団法人日本投資顧問業協会/  
一般社団法人金融先物取引業協会/  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

◆設定・運用は

野村アセットマネジメント

商号:野村アセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号  
加入協会:一般社団法人投資信託協会/  
一般社団法人日本投資顧問業協会

ファンドの基準価額等についてのお問い合わせ先:野村アセットマネジメント株式会社

★サポートダイヤル★ ☎ 0120-753104  
(受付時間)営業日の午前9時~午後5時



★インターネットホームページ★  
<http://www.nomura-am.co.jp/>



★携帯サイト★  
<http://www.nomura-am.co.jp/mobile/>

当資料は、ファンドに関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成  
しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時点のものであり、事前  
の連絡なしに変更されることがあります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、株式等の  
値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金  
が保証されているものではありません。ファンドに生じた利益および損失はすべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡りする投資  
信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。ご自身でご判断ください。